

令和6年度第1回 川崎市社会教育委員会議幸市民館専門部会 摘録

日 時 令和6年6月24日（月） 午後2時～午後4時40分
場 所 幸市民館 第1会議室
出席者 石渡委員、梅原委員、大塚委員、片岡委員、小泉委員、滝口委員、夏井委員
松井委員
欠席者 小泉委員
傍聴者 2名
事務局 加藤幸市民館長、藤田日吉分館長、高橋社会教育振興係長、松下管理担当係長
説明者 教育委員会事務局生涯学習推進課 佐藤主任

1 開 会

2 館長あいさつ

3 委嘱状交付

4 自己紹介

5 部会長・副部会長選出

互選により部会長に夏井委員、同じく副部会長に滝口委員が就任した。

夏井委員が議長席に移動し、以降の議事を進行した。

6 部会長・副部会長あいさつ

7 議事

(1) 「川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画」(案)の策定について

配布資料「川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画」(案)により、教育委員会事務局生涯学習推進課の佐藤主任より説明した。

ホームページで公表し、意見募集をしている。意見がもしあればフォームや郵送、持参等によりいただきたい。

昭和55年の開設から約44年経過し、トイレの配管の劣化による臭気や設備の不具合等により利用に支障をきたす状態がみられる。劣化した配管や老朽化した設備等の改修を行う必要がある。また大ホールが特定天井となっており、基準に合っていないため対策する。また照明のLED化やバリアフリー対策もあわせて行う。

利用状況は体育室・音楽室の利用は多いが和室や料理室の利用が少ない。図書館は年間約25万人近くの利用がある。令和元年の全庁的なトイレの快適化・様式化の動きがあるなかで、令和2年に幸市民館・図書館のトイレの快適化にむけた設計調査を行ったところ、配管が土の中に埋まっており図書館の下を通っているため配管張替えに大掛かりな工事が必要ながことが判明し、改修工事の方針となった。建物は100年超使えるとのことで、建物を活かして改修工事を行う方向となった。また、改修工事終了後に指定管理者制度を導入することが決まった。内装や天井のしみな

ど目立つ箇所がある。配管、設備や空調の老朽化もみられる。大ホールの舞台設備は一部更新されているが、されていないものもある。

意見募集については、令和5年2月3月に 地域団体へのヒアリングを行い、その後4月から6月にかけてワークショップを行った。トイレの匂い、照明のLED、バリアフリーなどの課題を把握した。基本理念・基本方針をもとに検討を進めた。

利用状況や実態を踏まえて、規模や配置の変更など、検討を進めた。2階の事務室を1階に、歩道に沿った場所に出入口を移設することを考えている。また暗くてあまり有効活用されていないエントランスホールは、ラウンジという形でソファを置いたり、会話や飲食ができるよう明るく開かれた空間を考えている。一部に市民ギャラリーを持ってきて、使われていないときはラウンジとして使えるように、フレキシブルに考えている。大会議室前にはスロープを設け段差の解消を考えている。トイレも移設を考えている。中庭はテーブルやベンチを配置し有効利用を考えている。2階の会議室の前の廊下が現在壁に囲まれており閉鎖的な印象があるところ、廊下の両脇に本棚を置き開放的な空間になるよう考えている。談話室も明るく利用しやすい空間を考えている。和室や会議室等は、今の利用実態を確保することを前提に、配置や規模の見直しを検討している。スケジュールは8月下旬に基本計画を策定し、令和7年にかけて実施設計を行い、令和8年中ごろから令和9年度にかけて改修工事を行い、令和10年4月から共用開始とする予定。工事中は館の運営ができず市民館の代替施設の確保は困難なため、貸館は休止するが、社会教育振興事業は他施設やオンライン併用等で事業実施を検討している。図書館も貸出し返却や利用者登録は近隣施設で行えるよう検討をすすめる。利用団体や図書ボランティアの活動継続についても検討をすすめていく。

【質疑応答・意見等】

夏井議長 昨年の専門部会でも、暗いね、とかトイレが使いづらいといった話があがっていたと記憶しているが、子どもから高齢者まで使える施設になってほしいと言っていた。要望もずいぶん反映されているように感じるが、いかがか。

松井委員 いつまで館が使えて、いつから使えなくなるのか。

生涯学習推進課 令和8年度秋～令和9年度末が工事期間。休館時期が決まったらご案内する。

夏井議長 活動されている方々が、活動する場が1年以上ないのは問題かと思う。

生涯学習推進課 現在検討中。他の場所を案内したり、できる限り他の公共施設を使えるよう、検討をすすめている。

夏井議長 探すのは大変なので、ぜひ探してほしい。

大塚委員 あっせんはできないけれど、場を示して紹介してもらおうということですね。

生涯学習推進課 はい。庁内であれば声掛けをする。

夏井議長 学校なども含めてぜひ検討してもらいたい。

- 片岡委員 かなり大掛かりな改装のようだが、外装が大きく変わる事はあるか。
- 生涯学習推進課 外の状態は比較的良いので、大きく変わることはなさそうである。入口が変わることで見た目は変わるかもしれない。
- 片岡委員 (幸市民館は) 地の利が悪く集まりにくい特性があるので、途中で案内板を設置したり、ネットで広報するなどしてほしい。指定管理者導入によりネット環境が良くなるのではと推察している。
- 生涯学習推進課 いただいた意見を踏まえて検討をすすめていく。
- 梅原委員 駐車場はそのままか。少なくなったりするか。
- 生涯学習推進課 工事用車両を止めるなど、一部使う方向で検討している。影響を少なくするように幸区役所と相談しながら検討をすすめていく。
- 大塚委員 1階と2階のラウンジで飲食できる、とあるが売店の誘致を考えているのか。談話室とロビーは、開放的で明るく懇談できるような素敵なものを想像していいのか。料理室で作ったものをパーティー的にそこで会食する事まで想定していいのか。
- 生涯学習推進課 飲食や様々な使われ方は想定しているが、細かい運営はまだ考えていないので、今後検討していく。
- 大塚委員 暗いイメージがあるが、どこかから採光するのか。
- 生涯学習推進課 出来る限り照明や採光など明るくなるよう、検討する。
- 松井委員 基本的にいま市民館の部屋を借りている方は飲食できないが、今後は飲食可能になるということか。
- 生涯学習推進課 飲食できる場所、できない場所の分離は出てくるとは思う。
- 松井委員 飲食するとゴミの問題がでる。ゴミの持ち帰りをしない人がいると、結局禁止になっていくのか。
- 大塚委員 飲食ができる雰囲気は大事にしたい。
- 梅原委員 この辺は、付近に飲食する場所がなく、人がこない原因でもある。コンビニが入る予定はあるか。区民祭などでは、市民館前のコンビニに人出が集中する。指定管理者導入によりカフェができれば盛り上がるのでは。
- 生涯学習推進課 スペース的に(館内に)コンビニは無理である。工事で店舗を入れる予定はないが、指定管理者の提案があれば、カフェの空間は出来る可能性はある。
- ～生涯学習推進課退席～

・前回専門部会の報告書について大塚委員より「令和4年度・令和5年度川崎市社会教育委員会 幸市民館専門部会 報告書」に基づき説明された。

(2) 管理運営・実施状況等について

事務局から【資料1】に基づいて説明

補修が必要な部分をピックアップして改修していく。今年度の時期は未定。

【質疑応答・意見等】

夏井議長 ホール・客席・座面は毎年少しずつ改修しているとの説明だが、毎回少しずつ改修なので、大規模改修でホールの座面を全部直してほしい。先の議題（１）で言いそびれたので、パブリックコメントに書くようにする。

（３） 社会教育振興事業について

ア 幸市民館社会教育振興事業

イ 日吉分館社会教育振興事業

いずれも事務局から【資料２】、【資料３】に基づいて説明

【質疑応答】

片岡委員 現代的課題学習事業は、どのようにして決まるのか。今回は、お金がテーマとのことだが、P a y P a y の普及で財布を持たないなど金銭感覚が変わってきている。市民の生活が大きく変わる中、子どもだけでなく大人も関心があるのではないかと思った。

事務局 この事業は幅広く含められる事業と考えている。ご指摘のとおり、今日的な話題も多いので決めた経緯がある。

片岡委員 決めるにあたり、市民館内で協議したか。なぜ子どもだけ対象か。子どもに焦点をあてた意味は？

事務局 金融リテラシーを早い段階で身に付けた方が良いのでは、と係内で共有した。１日目に関しては、同伴の保護者も話を聞き共有できるようにしている。

夏井議長 現代的課題学習なので、テーマはいい例だと思うが、いま必要とされるものについては、子どもだけでなく大人にも学習の機会が必要ではないか、というご意見かと思う。

片岡委員 講義形式だけでなく、子どもの意見を聞く機会を設けてはどうか。考えているとは思いますが、ワークショップなどできるとよい。

事務局 昨年度、夏休み時期に子どもむけにメディアリテラシーやデジタル情報等に関するワークショップ形式の講座を企画したところ好評だったため、今年度もこの時期にあわせて企画したのがきっかけである。本来なら子ども向けで青少年教室事業とする選択肢もあるところ、市制１００周年事業の「謎走中（めいそうちゅう）」の計画があったため、現代的課題学習事業で実施した。

片岡委員 子どもがお金に困っているとか、トラブルに巻き込まれているとか、子どもの関心に沿って作った事業ではなくて、大人の都合で市民館に子どもを集めたくて作った事業か。子どもが関心を持っているのではなくて、親が子どものお

金のつかいかたに関心を持っているのでは。

大塚委員 最近は、小学校でお金の意識について、授業を実施してはいないか。

滝口委員 お金については、小学6年生が政治を学ぶので、税務署の方による租税教育の機会はある。1億円のレプリカを見せてもらい税金について学んでいる。ただ（小学校でも）おごったりおごらない、家から抜いたお金を使い込んでしまったりなど、お金に関するトラブルはある。

片岡委員 子どもが親のカードを使いたい放題使ってしまう話を聞いたことがある。

滝口委員 ゲームなどの課金を親のカードで勝手にやってしまい、引き落としの時に初めて気づくといった事例は、複数の小学校であるようだ。

大塚委員 こうした意識も含めてすこし考えてみようということですね。

事務局 対象は小学校4～6年生だが、講座では保護者にもお子さんの発言や様子を見てもらって、保護者の意識も高めてもらいたいと想定している。

片岡委員 （学校などで）子どもがチラシを見て、応募してくるのか。子どもに届くように情報提供しているか。

事務局 小学校にチラシを配布し、市民館だよりやホームページ等で広報している。子どもも見ることができる。

夏井議長 他に質問等あるか。

石渡委員 幸市民館、日吉分館、それぞれ1件ずつ提案型事業がある。市民館は乙女文楽、分館は大田道灌のドリームミュージカルを実施する団体に対して、どういう伴走支援や協力を見込んでいるのか。

事務局 助言や支援は、区役所や市民館を通じた広報可能な場所への働きかけ、広報ツールの利用、取材が入った時に一緒に対応すること、参加者募集への問合せ対応、市民館にあるものであれば必要な物品の貸出などを想定している。

事務局 日吉分館も基本的に幸市民館と同様。今回ははじめて幸区企画課にキックオフ時に来てもらい、支援の方法など話し合いをした。団体から大きくやりたいと希望もあり、事業の実施を通じながら区のノウハウを出していく。今年2年目だが、この事業は3年で卒業なので、いずれ自分たちで活動できるようノウハウづくりを支援する。

石渡委員 自分も提案型事業に関わっている立場で、一番困ったのは広報。市政だよりや市民館だよりに載せてもらいありがたかった。ぜひ取材先と一緒に探す、タウンニュース掲載の可能性を探ったり、（市の）シティプロモーションが来る、など3年かけて支援してほしい。

大塚委員 他の福祉関係の会議に出たとき話題になったが、事業名が「障害者社会参加活動」とあり、「障害者」が漢字表記になっているが、あっているのか。

事務局 昨年度まで要綱でひらがな表記だったが、今年度から漢字に変更されている。

夏井議長 川崎市では、障がい者団体の要望があつてひらがなにしていた。文部科学省は

漢字を用いている。なぜ戻すのか理由がはっきりしないと納得がいかない。

事務局 生涯学習推進課に確認する。

大塚委員 幸市民館「シニアの社会参加支援事業」で6月21日の「音楽療法ってなに？」の参加者は何名か。興味はあった。

事務局 25名だった。定員30名以上の申込みがあったが、当日どしゃ降りの悪天候ということもあり、当日キャンセルが多く出た。

(4) 審議事項について

事務局・加藤館長より説明した。

前期までは委員で自由にテーマを設定して調査・審議・報告書を作成いただいた。

他館の状況について、中原と高津は、今期委員の任期中に指定管理者制度導入予定のため報告書の作成を見送ることになった。教育委員会事務局に確認したところ、報告書の作成は任意であるとのこと。報告書を作成するかどうか議論してもらいたい。作成する方向で決まったら、次回審議テーマを検討するための資料を事務局が用意するというのでいかがか。

夏井議長 幸市民館の指定管理者制度導入はまだ先なので、どうするか議論いただきたい。せっかくの専門部会なので議論をまとめ、残していく、市民の皆さまにお伝えしていくことは必要かなと思っている。ご意見をいただきたい。

大塚委員 前期の報告書は、どういう過程で、どのような扱いになっているのか。だれが見ているのか。

事務局 親会議（社会教育委員会議）に報告書を出している。活用は定かではない。

夏井議長 議論したことは議事録としてホームページ上に載っている。調べようと思えば、専門部会の議事録や、資料として報告書が載っているはず。前回、報告書を市民館のホームページに載せてほしいと要望したが、生涯学習推進課に聞かないと分からない、という返事だった。調べた限りでは、前回の専門部会の摘録は載っていたが、資料（の中身）は載っていなかった。ただ、館長に改めて確認したところ、幸市民館のホームページ上に、報告書が掲載されていると伺ったので、今後確認する。

事務局 報告書は事業を実施していく上で参考にさせていただいている。

松井委員 今期はまだ改修工事の影響がないのなら、報告書はまとめられそうですね。

大塚委員 報告書を出して、改修工事に入って指定管理者制度導入になるなら、テーマは決まりですね。

夏井議長 指定管理者制度導入に向けてまとめていくことはできると思う。

改修工事が入ったとき市民の活動の場をどうするかというテーマでもよい。

松井委員 報告書としてまとめるのは任意だからどちらでもいいとは初めて聞いたよう

な話である。以前、全区のテーマ（研究課題）と委員名簿と概要が書いた冊子をもったような記憶がある。どの区も活発に審議されている印象だった。

夏井議長 それは、専門部会から市民館にお願いして、各区から取り寄せてもらい、まとめたものと思われる。活動報告書 185 ページに、テーマ（研究課題）の一覧は載っている。

松井委員 テーマを決めるにあたり参考にしたい。

夏井議長 テーマに沿った、具体的な報告書ですね、必要なら幸市民館に伺って取り寄せてもらいますか。前は片岡委員に助力いただいた。今回も同様をお願いしたい。

片岡委員 もちろん作業はする。ただし決定して、まとめるのはみんなで。

夏井議長 では報告書としてまとめるということで、賛成の方は挙手をお願いします。（反対なし。）それでは報告書を作成するというので、館長よろしいか。

事務局 承知した。資料を取りよせてご用意する。

8 市民自主学級・市民自主企画事業の選考について

事務局より説明

今回、日吉分館へ 1 団体から提案があった。臨時になるが選考をお願いしたい。

事務局（日吉分館）より配布資料に基づき、選考に関する説明を行った。

続いて、提案団体「発酵食品を作ろう会」によるプレゼンテーションを実施した。

【質疑応答】

夏井委員 素晴らしい企画だと思う。自分でも味噌などを作るが、意外と材料費がかかると思う。材料費は受益者負担になると思うので、どう考えているか。だいたいいくらまで、というふうに決めないといけないかなと思う。

提案団体 もともとワコンコインで、と思うが、そうすると量が少なくなるので五百円から千円で考えられればいいかな、と思っている。国産のものにこだわりたいと考えているので、費用がかさんでしまう恐れがある。

夏井委員 大量に作ったものをみんなで分けて、ワコンコインにするとかもありかと考える。値段で躊躇して参加を踏みとどまる方がいないよう、考えてもらいたいと思う。

提案団体 了解した。

大塚委員 「地域の農家や畑をしている人とのつながり」と書かれているが、実際は幸区内を指しているのか。川崎市内のような広い範囲を考えているのか。

提案団体 幸区だけでもしできれば一番いいと思うが、全ては難しいと思う。例えば大豆の食品レベルだと日本、くらいになる。野菜や試食を準備することになったら、

講師には地元の野菜を使ってもらようよう交渉をしていきたい。

大塚委員 提案団体自身がつながりを持っているのではなくて、講師を通して探すイメージか。

提案団体 市民農園をやっているので、農家との関わりがまったくないわけではない。ただ講師と農家をつなぐのは、こちらの役割になるかと思っている。

梅原委員 大豆と糀（こうじ）はどこから仕入れる予定か。大豆は輸入品が多く、手に入れにくいと思うので。糀も値上がりしている。

提案団体 糀は県内で見つけているが、大豆はこれから探す。一度に作ってしまえばいいと思うが、一般的に高いイメージがある。

梅原委員 生糀でやるのか、乾燥のものでやるのか。

提案団体 講師との調整が必要になるが、できれば生糀を買えるところを講座を通じて参加者にお知らせしたいと思っている。生糀も乾燥糀もあると両方お知らせしたい。

梅原委員 塩はどうか。

提案団体 自分がどこの産地のものを買っているか答えられる人がどれくらいいるのか考えると、国産の塩がいろいろなところで作られている点にも、この講座で伝えていきたい。

片岡委員 これまで味噌の話ばかりだが、テーマは発酵食品で、プログラムには醤油・納豆・漬物・キムチなど、作る食品がいろいろ書かれている。1回ごとにやるとお金がすごくかかりそうなので、絞った方がいいと思う。狙いは発酵食品の菌の力だと思うので、その点を理解してもらうことに絞って、あくまで食品なり材料は手段として、もう少し精選した方がいいと思う。

提案団体 ありがとうございます。いろいろ伝えたいという思いがあって、これでも同じ材料でできるものをまとめたつもりだが、ご指摘のとおり量を持って帰ることより、知ってもらうことを大事にすることを考えていきたい。

片岡委員 例えばシリーズ化して、次回も提案して別の発酵食品にするなどして、多くの人が参加できるプランがいいのではないかと思います。

石渡委員 今回何回分で考えているか。

提案団体 5回分で考えている。材料は1回ごとに材料を変えて考えていたが、費用がかさむことを考えて、一つに絞ってお話を深く聞いた方がよいかと思うようになった。

片岡委員 試食とあるが、市民館で食べることができるのか。調理できるのか。

事務局 実習室であれば可能。自分で作ったものを自分で食べるのは問題ない。ここで企画提案会を終了とする。この後は、選考のため、非公開となる。

～提案団体退席～

【提案について審議】（非公開）

9 その他

次回の日程調整を行い、以下の通り決定した。

次回日程について、9月25日（水）午後2時（幸市民館 第2会議室）

次々回日程について、12月23日（月）午後2時（幸市民館 第2会議室）

10 閉 会